

臨床研修・キャリア支援センター

■ スタッフ

センター長	～10月	伊佐地 秀司
	10月～	宮部 雅幸
副センター長		櫻井 洋至
医師数	常勤	7名

■ 部門の特色

本センターは三重大学医学部附属病院の初期研修プログラムの管理ならびに研修指導を行う組織として、2006年に設立された卒後臨床研修部が前身となり、2011年3月に臨床研修評価機構 JCEP*で4年の認定を受けたのを契機に病院内全ての医療職の研修、生涯教育を支援するために2011年6月に発展的に組織改変されました。臨床研修・キャリア支援センターで行われているプログラムや教育的活動には、次世代を担う若い方々に以下のような医療人に育って欲しいという思いを込められています。

1. ミッション

共に成長する臨床教育で三重から世界へ
～幅広い視野に立ち、地域全体を見渡し、世界に通用する指導的人材を育成する～

2. ポリシー

1) プログラム

医師として備えるべき知識や基本技術などの教育と指導にとどまらず、研修医と指導医の間で適切な評価とフィードバックを常に行い、患者と医療者双方にとって、安全・確実で効果的なチーム医療の実践と研修プログラムの作成・改善に常に取り組みます。

2) スキル

スキルズラボ(体験型医療技術研修センター)では最新のシミュレーター機器とスキル教育プログラムの充実により、プライマリケアスキルから高度な専門技能の習得まで、患者の負担を増加させることなく先端IT技術に基づいた医学・医療技術教育の開発に取り組みます。

3) キャリアパス

卒前から、卒後初期・専攻医修練に至るまでのシームレスなキャリアパス支援を行い、効果的な高度専門技能医育成のための活動をサポートします。

4) 共育

病める方々や家族、スタッフに愛情と尊敬と感謝の念をもって接する医師としての人格をかん養し、地域や国際社会において医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識し、研修医と指導医が共に学び共に成長する臨床教育を目指します。

■ 活動内容

三重大学医学部附属病院における医師の卒後臨床研修ならびに看護師、その他の医療職の専門教育を生涯に渡り支援し、円滑に行うことを目的とし、以下の業務を行っています。1) 初期研修医の募集及び登録に関すること。2) 専門医修練の相談と支援に関すること。3) 卒後臨床研修プログラム、カリキュラムの作成、管理及び実施に関すること。4) 研修内容の標準化に関すること。5) 指導医の質の向上及び能力開発に関すること。6) 臨床研修医及び指導者の評価に係る業務に関すること。7) 医師・看護師・その他すべての医療職の生涯教育及び復職支援に関すること。8) 地域医療に資する医療人育成、ならびに行政枠を越えた、広域医療連携に基づく地域医療強化事業に関すること。9) 女性医療人の支援を主な目的とした学童保育室「さくら組」の整備、運営に関すること。10) その他臨床研修に係る業務に関すること、であります。

活動の具体的内容としては、臨床研修指導医の育成(年1回)、メンターシップ講習会の開催とメンターの育成(年1回)、高校生、医学生、研修医、医師、その他の医療職を対象としたスキルセミナーの開催(年7-8回)、女性支援セミナー(年1-2回程度)を開催しております。

■ 活動体制

スタッフ 12名 (医師 7名 事務 5名)
院内実行委員数 40名
院外を含む研修管理委員数 129名
臨床研修指導医 182名

■ 活動実績

平成25年度研修医採用実績 15名
平成25年度セミナー開催実績
1) 臨床研修指導医養成講習会参加者計 50名
2) メンター養成講習会参加者 22名 (累計 147名)
3) メンタースキルアップセミナー参加 29名
4) スキルセミナー参加者計 81名

■ 今後の展望

三重県唯一の医育機関である三重大学ならびに三重大学医学部附属病院の臨床研修・キャリア支援セ

ンターは、単に研修医教育プログラムの管理のみならず、医学生の臨床教育の質の向上、医学生・若手医師のキャリアパス支援、全ての医療職の生涯教育支援、指導医・指導者の人材育成、シミュレーション教育の普及とプログラム開発、医療圏・行政枠に留まらない若手医師・研修医教育、地域・へき地の医療支援と行政枠を超えた学生・研修医教育、海外の医療情勢の理解と医師としての関わり教育など、多岐・多様な人材育成活動を医学看護学教育センター、MMC、地域医療支援センターとの連携をとりながら今後も続けて行きます。冒頭に示しました当センターのミッション「共に成長する臨床教育で三重から世界へ ～幅広い視野に立ち、地域全体を見渡し、世界に通用する指導的人材を育成する～」がめざす通り、地方大学でありながら国内だけでなく世界的にも評価される卒前から卒後長期にわたるシームレスな教育体制の充実を目指しています。今後ともご理解とご支援のほどお願い申し上げます。

[▶ http://www.hosp.mie-u.ac.jp/](http://www.hosp.mie-u.ac.jp/) (ホームページ)